

## 発行にあたり

みなさまには、日頃からニセコ町のまちづくりにご支援、ご協力をいただいておりますことに、心から御礼を申し上げます。

平成7年度の発行から数えて20冊目となる平成26年度ニセコ町予算説明書『もっと知りたいことしの仕事』をお届けします。

この予算説明書は、町議会で決定いただいた予算の内容をみなさまにお知らせし、町政へのご理解をいただくとともに、町の財政における説明責任を果たすためこれまで作成してきている冊子です。

町のお金や情報は、町民みなさま共有の財産であり、町は地方政府として自らが保有する情報を、主権者である町民のみなさまにわかりやすく説明する責任があります。そこでこの予算説明書は、法律などで定める通常の予算書の形式では伝えきれない内容を、少しでもわかり易くなるよう毎年少しずつ改善し、作成しているものです。どうぞ、お気づきの点があれば、ご意見を賜りたくお願い申し上げます。

近年の日本社会は、費用対効果など経済合理性重視、「お金」による価値判断が最優先され、福祉や教育、地域への愛着や人々の幸福感など、経済的価値に置き換えがたい「暮らし」や「公共が担うべき仕事」への理解が希薄化しているように感じています。本町は、大正11年に自ら所有する農場を農民に無償開放した文豪・有島武郎ゆかりの地です。今なお、有島の遺訓「相互扶助」の理念が息づくわがまちの特性を活かし、「公正に、そしてスピード感を持って、思いやりに満ちたニセコ」を創るため、職員ともども一丸となってまい進していく所存です。

今年3月、ニセコ町が「環境モデル都市」として国から選定されました。クローズド型廃棄物処分場やリサイクル、資源循環の堆肥センター、地中熱の活用など自然再生可能エネルギーの導入、水資源保全への取り組みなどのこれまでの環境対策、そして、今後の地球温暖化防止戦略が評価されたものと大変うれしく思っております。

私たちのまちが、第5次ニセコ町総合計画の目標である「環境創造都市」として着実に伸展するよう、この予算書がみなさまのまちづくり議論や活動の素材になればと願っています。

ニセコ町がより住みやすいまちになるように、そして次世代により良い環境を引き継ぐため、力を合わせてまちづくりを進めていきましょう。本年度もよろしく願いいたします。

平成26年4月

ニセコ町長 片山 健也